

都市再生整備計画

な ら け ん か ん ま き ち ょ う
奈良県 上牧町

平成30年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	奈良県	市町村名	カンマキチヨウ 上牧町	地区名	タキガワミズベ、シユウヘダク 滝川水辺周辺地区	面積	150.6 ha
計画期間	平成	30	年度	～	平成	34	年度
				交付期間	平成	30	年度
					～	平成	34
							年度

目標

本町には上牧久渡古墳群や片岡城跡等の歴史文化遺産や秩父池周辺等の豊かな自然環境が点在しており、水辺空間を利用した滝川周辺を整備することにより、これらの地域資源を繋いだルートを「かんまき笹ゆり回廊」と位置付け、歴史文化や自然環境を保全するとともに、上牧らしい新たな地域資源の形成を図る。また、滝川の水辺周辺地区を活用し、幅広い世代が交流できる場を創出することで、地域コミュニティの活性化を図り、地域で支え合い暮らしていけるまちづくりを目指す。

目標1：世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。

目標2：滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。

目標3：滝川周辺へのアクセス性の向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

上牧町は奈良盆地の北西部に位置しており、東西に2.1km、南北に3.6km、面積は6.14km²で、北西は王寺町、北東は河合町、南東は広陵町、南西は香芝市に隣接している。コンパクトな町域のなかに、医療施設、商業施設、教育文化施設が揃っており、便利に暮らすことのできる環境が整っている。交通面では、大阪市の中心部から約35kmの距離にあり、西名阪自動車道の香芝ICが近接するなど自動車交通の利便性にも恵まれている。町内各地と王寺駅・五位堂駅を結ぶバス路線も運行されており、バスと電車を乗り継いで大阪の中心部まで約1時間の時間距離にあることから、このような立地特性を活かし、昭和40年代より西大和ニュータウンの開発が始まり、大阪都市圏のベッドタウンとして人口が急増し、住環境の充実に重点を置いたまちづくりを進めて発展してきた。

一方で、町人口は、昭和46年に人口増加率日本一を記録したが、平成17年の24,955人をピークに、約10年の間で約2,000人の減少に転じている。近年の本町の人口減少の要因は少子化などによる「自然減」及び転出超過による「社会減」であり、平成27年国勢調査の結果によると、平成22年から平成27年の人口は1,674人減となり減少率は7.1%となっている。また、65歳以上の人口比率は、33.3%となり高齢化問題も深刻化している。高齢化率については今後も上昇が予想され、昭和40年代にニュータウンに一斉に転入してきた世代の高齢化の進展、子どもの独立などで、独居の高齢者も増えており、少子高齢化は地域コミュニティの衰退を招き、高齢者の社会的孤立が問題となっている。

そこで、若者世代から高齢者まで幅広い世代の町民が絆でつながり、地域で支え合い暮らしていける仕組みを整え、町民主体のまちづくりの推進を図る必要がある。地域のつながりの希薄化に歯止めをかけ、若年世代～シニア世代と多世代が様々な取組みを通じて交流しながら活躍する場と機会を創出し、町民の健康増進、地域コミュニティの活性化を図る。

滝川周辺は野鳥や季節ごとの草木が観察でき、町民にとって身近な散歩道であり、歴史文化資源や地域資源などの自然環境を結ぶルートとして、上牧ささゆり回廊の中核としても重要な位置づけであるが、歩行者と自転車が混在し、夜間は照明もない区間もあり、舗装されている箇所も損傷が激しく、歩行者が安心して歩ける状態となっていない。本計画では、滝川の水辺空間を、町民が楽しみ、憩える場所・楽しく歩ける空間として活用することで、地域コミュニティの活性化・にぎわいの創出・健康増進を図るものである。

また、住民の交流促進による地域コミュニティの活性化には、周辺住民が徒歩や自転車、自動車などで容易に滝川にアクセス、往来できる必要があるが、道路ネットワークが未完成であるため幹線道路の渋滞発生によりあふれた交通が生活道路に流入し歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の低下を招いている。

平成21年度の住民アンケート調査によると、「より良い都市づくり・まちづくりを進める上で特に重要な方策」では、「山や街なかの緑を保全する」が約27%で第1位、「川や水辺を保全する」が約23%で第5位の選択率があった。自然環境に対する意見が多く見られたことから、滝川の自然環境と触れ合うことのできる運動(花いっぱい運動)を実施し、花植えと定期的な水やり等の継続的な活動を行うことで、地域住民同士のコミュニティ形成が期待される。また、住民同士の交流を促進のために、休憩などゆっくり過ごすことができる東屋やベンチなどの設置を図ることが重要だと考えられる。

課題

- ・豊かな地域コミュニティの活性化に向けた、世代を超えた町民間が交流できる場の創出（滝川周辺の遊歩道、広場などの憩いの場の整備）
- ・高齢者の健康づくりや生きがいづくりの促進に向けた仕組みづくり（滝川を安全・安心して楽しく歩ける空間整備）
- ・滝川周辺の景観向上を図るとともに、自然豊かな水辺空間の活用（親水空間の整備、滝川周辺の全体的景観の改善）
- ・歴史文化資源や地域資源の活用（かんまき笹ゆり回廊を活用した回遊性向上のための仕組みづくり）
- ・滝川へのアクセス性の向上歩行者・自転車の交通安全性・快適性の向上（道路ネットワークの整備による安全で快適な交通環境の形成）

将来ビジョン(中長期)

「上牧町第5次総合計画」(平成29年4月)

・かんまき笹ゆり回廊を将来都市構想における都市の骨格となる軸と位置づけている。

・基本施策の環境保全分野では、景観緑化として、かんまき笹ゆり回廊整備計画の推進によって、やすらぎと憩いのある緑地空間の整備をしますとしている。また、公園緑地としてかんまき笹ゆり回廊において、公園、広場、ポケットパーク等の緑地空間を適切に配置しますとしている。

・基本施策の魅力づくり分野では、歴史文化の活用としてかんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワークの整備に取り組みますとしている。

「上牧町都市計画マスタープラン」(平成21年4月)

・都市づくりの目標として、かんまき笹ゆり回廊を水と緑の回廊に位置付け、自然や歴史とのふれあいの軸として形成を図りますとしている。

・自然環境の保全及び都市環境形成の方針において、かんまき笹ゆり回廊の整備を図りますとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
滝川周辺の整備における住民の満足度	%	滝川周辺の整備に対して住民の満足度についてアンケート調査を実施する。	滝川周辺の整備により滝川に対する住民の満足度が向上したかを調査する。	14%	平成27年度	50%	平成34年度
滝川遊歩道利用者数	人	平日の滝川遊歩道利用者の合計数を計測する。	滝川周辺の整備により賑わいや交流の場が創出されたことで滝川遊歩道の利用者数が増加したか確かめる。	550人	平成29年度	660人	平成34年度
地域活動に参加している割合	%	地域活動に参加している割合についてアンケート調査を実施する。	滝川周辺の整備により地域コミュニティが活性化され、ボランティア活動の参加割合が増加したか確かめる。	38%	平成27年度	40%	平成34年度
交通事故件数	件	当地区における交通事故発生件数	道路ネットワークの整備により、安全で快適な交通環境の形成を図り、交通事故件数の減少を目指す。	14件	平成29年度	8件	平成34年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>①世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝川遊歩道と一体となった東屋等休憩施設の整備を行い、地域住民の憩いの場となるオープンスペースの充実を図る ・川辺に集う人々の活動拠点となるポケットパーク等の緑地空間整備を行い、くつろぎの空間・健康づくりの空間の創出を図る。 ・町有地において地域の協働による彩り植栽を行い、賑わいのある街を形成する活動を誘導する。 	<p>【基幹事業】 (地域生活基盤施設)広場整備事業</p> <p>【提案事業】 (まちづくり活動推進事業)花いっぱい運動</p>
<p>②滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内を循環する「かんまきせりり回廊」整備の一環として、滝川沿いにおいて身近に自然と触れることのできる快適でうろおいのある遊歩道を整備する。 ・滝川右岸を遊歩道、左岸を自転車道として分離し、歩行者と自転車の混在を解消する。 ・滝川沿いに親水施設の整備を行い、自然豊かな水辺の魅力向上を図る。 ・地域との協働による草花の植栽により、滝川自体の清らかな水辺の創造を図る。 	<p>【基幹事業】 (高質空間形成施設)自転車道整備、遊歩道整備 (地域生活基盤施設)広場整備事業</p> <p>【提案事業】 (まちづくり活動推進事業)花いっぱい運動</p>
<p>③滝川周辺へのアクセス性の向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝川へのアクセス性を高め利便性を向上させることで、地域住民の交流を促進する。 ・都市計画道路の整備により、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。 	<p>【基幹事業】 (道路)都市計画道路 服部台明星線整備</p>
<p>その他</p>	

滝川水辺周辺地区(奈良県上牧町) 整備方針概要図

目標 目標1: 世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。 目標2: 滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。 目標3: 滝川周辺へのアクセス性の向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。	代表的な指標	滝川周辺の整備における住民の満足度 (%)	14%	(H27年度)	→	50%	(H34年度)
		滝川遊歩道利用者数 (人)	550人	(H29年度)	→	660人	(H34年度)
		地域活動に参加している割合 (%)	38%	(H27年度)	→	40%	(H34年度)
		交通事故件数 (件)	14件	(H29年度)	→	8件	(H34年度)

